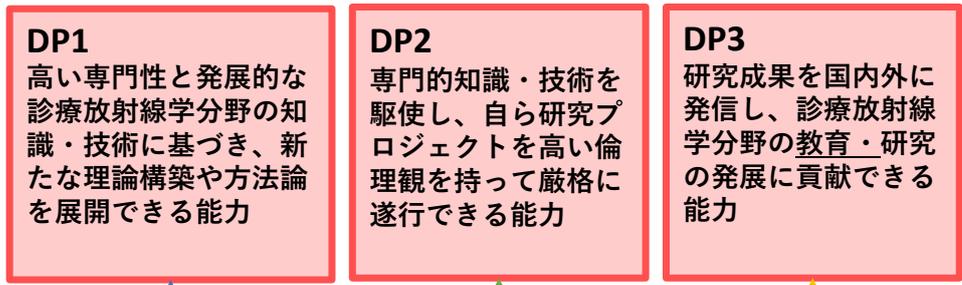


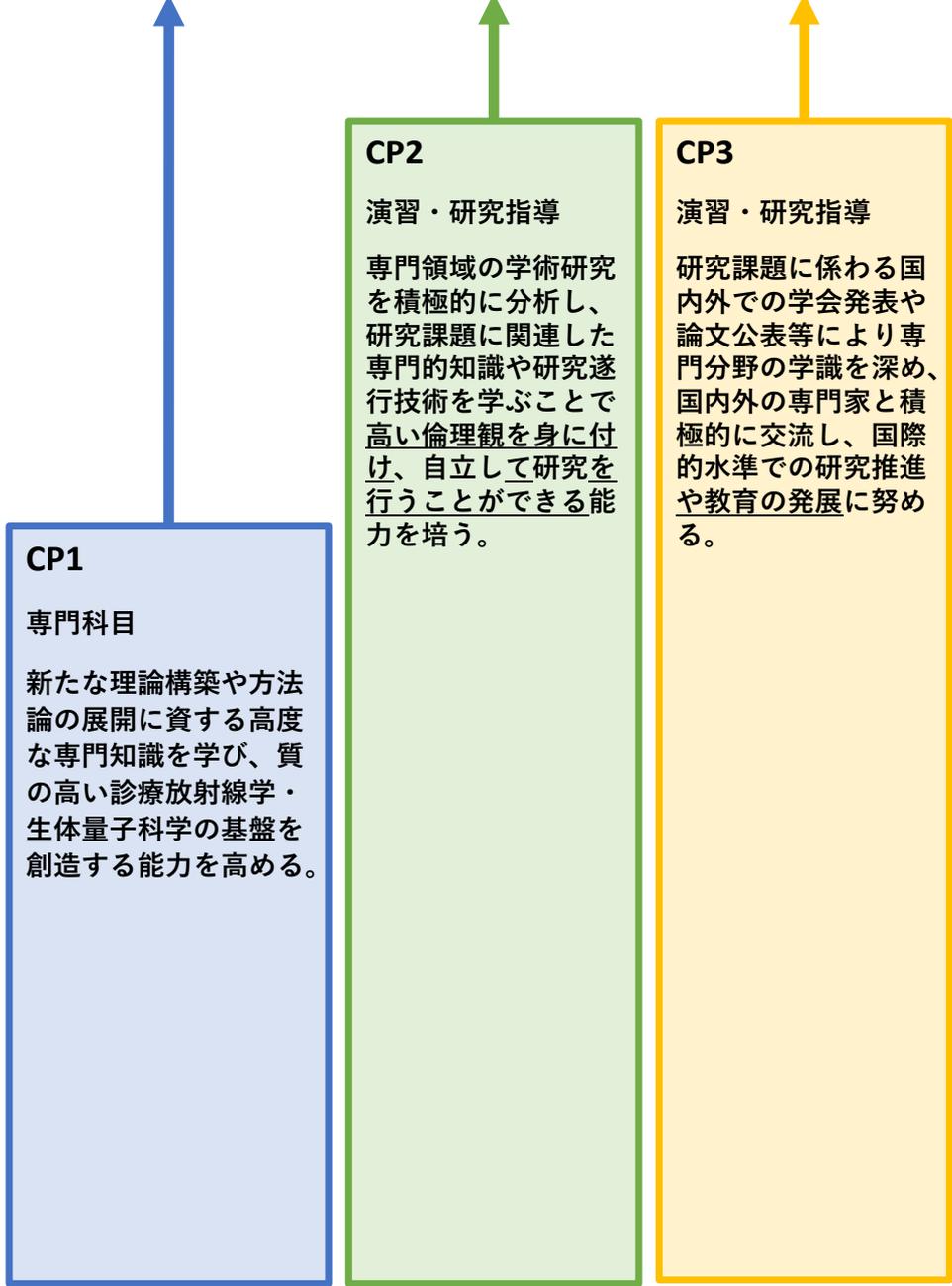
## 審査意見への対応を記載した書類（6月）（資料）目次

- 別添資料1 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料8】ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの関係
- 別添資料2 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料9】カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー
- 別添資料3 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料16】博士前期課程の3つのポリシーとの対比
- 別添資料4 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料15】基礎となる博士前期課程との関係図

ディプロマ・ポリシー



カリキュラム・ポリシー



アドミッション・ポリシー

求める学生像

AP1.博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力と倫理観を兼ね備えている人

AP2.豊かな人間性と強い探求心を持ち、診療放射線学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人

AP3.診療放射線学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げ、研究成果を国内外に発信する英語力のある人

AP4.博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、診療放射線学分野の発展に貢献する強い意志のある人

ディプロマ・ポリシー

<p><b>DP1</b> 高い専門性と発展的な診療放射線学分野の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力</p>	<p><b>DP2</b> 専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力</p>	<p><b>DP3</b> 研究成果を国内外に発信し、診療放射線学分野の研究の発展に貢献できる能力</p>
--	---	---

カリキュラム・ポリシー

3年次	後期	前期
2年次	後期	前期
1年次	後期	前期

<p><b>CP1</b> 専門科目 新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学び、質の高い診療放射線学・生体量子科学の基盤を創造する研究者としての能力を高める。</p>	<p><b>CP2</b> 演習・研究指導 専門領域の学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶことで、自立した研究者となるための能力を培う。</p>	<p><b>CP3</b> 演習・研究指導 研究課題に係わる国内外での学会発表や論文公表等により専門分野の学識を深め、国内外の専門家と積極的に交流し、国際的水準での研究推進に努める。</p>
--	---	---

アドミッション・ポリシー

求める学生像

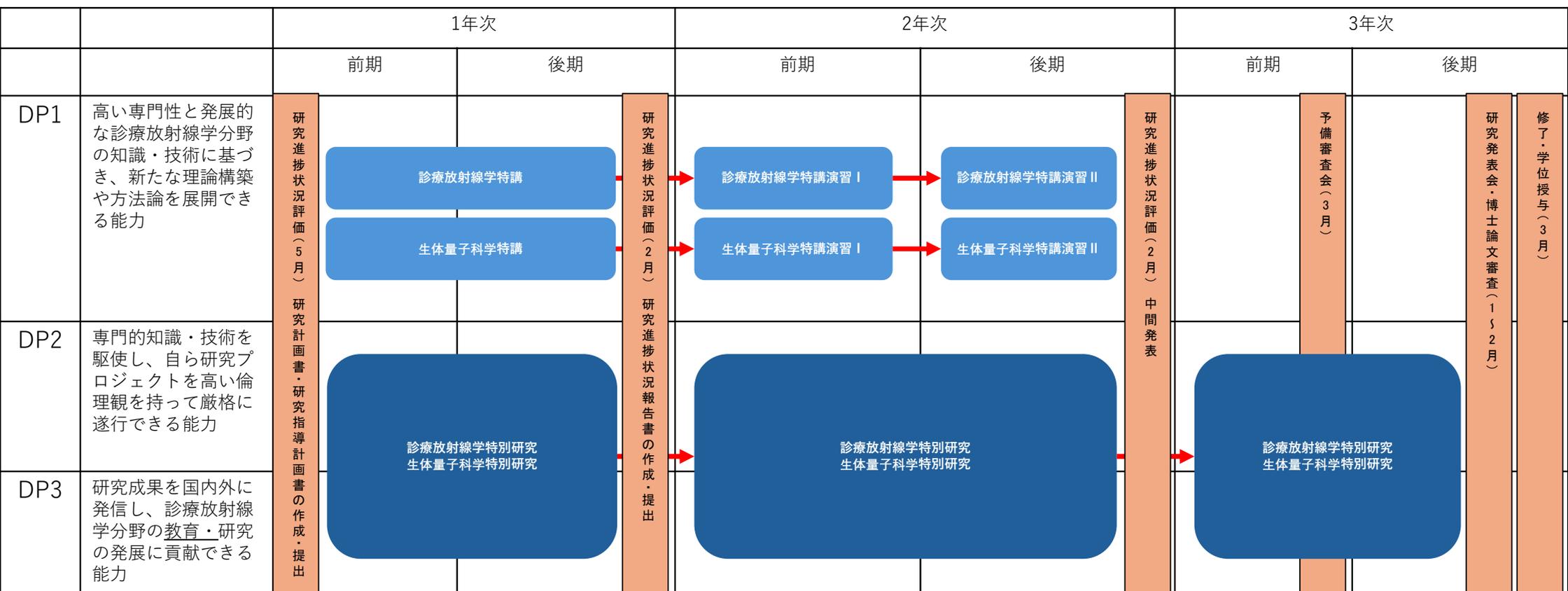
- AP1.博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力を兼ね備えている人
- AP2.豊かな人間性と強い探求心を持ち、診療放射線学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人
- AP3.診療放射線学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げる意欲のある人
- AP4.博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、教育者、研究者、指導者として、診療放射線学分野の発展に貢献する強い意志のある人

一審査意見(6月)(資料)ー3ー

## 診療放射線学専攻博士後期課程カリキュラム・マップ

区分	授業科目	年次	開講時期	DP1	DP2	DP3
				高い専門性と発展的な診療放射線学分野の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力	専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力	研究成果を国内外に発信し、診療放射線学分野の教育・研究の発展に貢献できる能力
専門科目	診療放射線学特講	1年次	通年	○		
	診療放射線学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	診療放射線学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
	生体量子科学特講	1年次	通年	○		
	生体量子科学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	生体量子科学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
演習・研究指導	診療放射線学特別研究	1～3年次	通年		○	○
	生体量子科学特別研究	1～3年次	通年		○	○

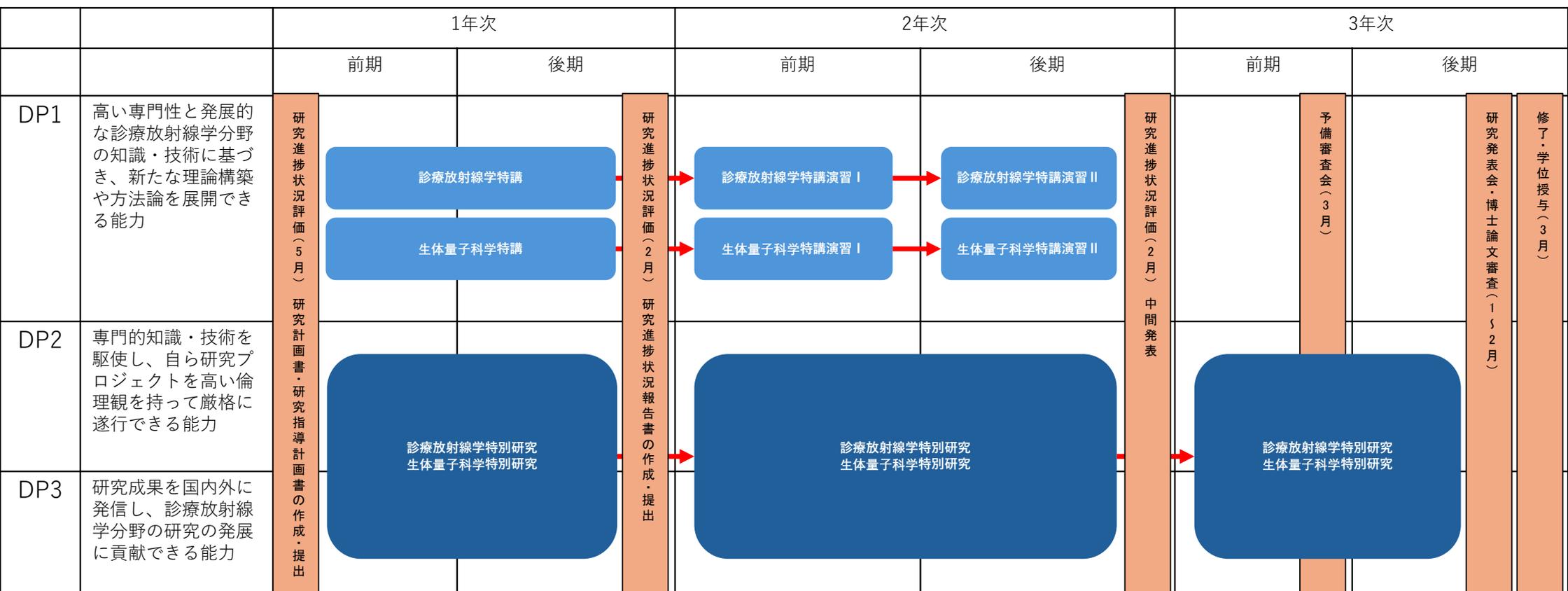
診療放射線学専攻博士後期課程カリキュラム・ツリー



## 診療放射線学専攻博士後期課程カリキュラム・マップ

区分	授業科目	年次	開講時期	DP1	DP2	DP3
				高い専門性と発展的な診療放射線学分野の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力	専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力	研究成果を国内外に発信し、診療放射線学分野の研究の発展に貢献できる能力
専門科目	診療放射線学特講	1年次	通年	○		
	診療放射線学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	診療放射線学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
	生体量子科学特講	1年次	通年	○		
	生体量子科学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	生体量子科学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
演習・研究指導	診療放射線学特別研究	1～3年次	通年		○	○
	生体量子科学特別研究	1～3年次	通年		○	○

診療放射線学専攻博士後期課程カリキュラム・ツリー



### 教育理念

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材を育成していくことを目指している。

順天堂大学大学院保健医療学研究科では、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる高度な専門知識と専門技術を有する指導的・高度医療専門職者や、理学療法学、診療放射線学の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学、診療放射線学の基盤を創造する教育・研究者の養成を目的とする。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

### 診療放射線学専攻

#### 〈博士前期課程〉

標準修業年限（2年）以上4年以内在籍し、修了要件となる30単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格した者に対し、修士（診療放射線学）の学位を授与します。

- DP1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、診療放射線学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力
- DP2. 診療放射線学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割や診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力
- DP3. 科学的根拠に裏付けされた診療放射線学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力
- DP4. 診療放射線学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力

#### 〈博士後期課程〉

標準修業年限（3年）以上6年以内在籍し、修了要件となる10単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び試験に合格した者に対し、博士（診療放射線学）の学位を授与します。

- DP1. 高い専門性と発展的な診療放射線学分野の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力
- DP2. 専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力
- DP3. 研究成果を国内外に発信し、診療放射線学分野の教育・研究の発展に貢献できる能力

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

## 診療放射線学専攻

## 〈博士前期課程〉

- CP1. 人体の機能・構造の専門的知識や高度の倫理観、保健医療分野の専門的な研究方法論を修得するために、共通科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP2. リーダーや管理者、または教育・研究者としての必要な知識や、診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する方法を修得するために、共通科目と専門基礎科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP3. 診療放射線学の基幹領域での科学的根拠に裏付けされた診療放射線学の専門的知識や技術の応用力を修得するために、専門科目に特論科目及び特論演習科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP4. 診療放射線学における課題を見極め、研究計画立案から研究実施、さらに結果を分析する能力を修得するために、演習・研究指導科目に特別研究を配置します。成果は修士論文審査により評価します。

## 〈博士後期課程〉

- CP1. 新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識を学び、質の高い診療放射線学・生体量子科学の基盤を創造する能力を高めます。
- CP2. 専門領域の学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶことで高い倫理観を身に付け、自立して研究を行うことができる能力を培います。
- CP3. 研究課題に係わる国内外での学会発表や論文公表等により専門分野の学識を深め、国内外の専門家と積極的に交流し、国際的水準での研究推進や教育の発展に努めます。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### 診療放射線学専攻

#### 〈博士前期課程〉

診療放射線学専攻（修士課程）は、診療放射線学の教育を受けた学生や社会人などに対して、高い専門性と発展的な診療放射線学の知識を教授し、国際的・社会的に貢献できる人材を育成することを目的としています。生涯にわたって診療放射線学と向き合う姿勢を持ち続、「仁」の心を兼ね備えた研究者・高度専門職業人を育成するため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 豊かな人間性をもち、診療放射線学分野の発展のため、大学院で学修・研究する明確な意思と、そのために必要な学力を持つ人
- AP2. 保健・医療・福祉の臨床・教育現場で活動しており、診療放射線技師の資格を持つ者として向上心のある人
- AP3. 診療放射線学に高い関心を持ち、入学後の学修・研究活動に積極的に取り組む意欲のある人
- AP4. 診療放射線学における研究・教育活動を通じて社会に貢献する強い意志のある人

#### 〈博士後期課程〉

診療放射線学専攻（博士後期課程）は、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる専門知識と専門技術、及び高度な研究能力を有し、診療放射線学分野の研究を積極的に推進し、質の高い診療放射線学・生体量子科学の基盤を創造、ならびに後進の指導を行い得る人材を養成することを目的としています。そのため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力と倫理観を兼ね備えている人
- AP2. 豊かな人間性と強い探求心を持ち、診療放射線学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人
- AP3. 診療放射線学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げ、研究成果を国内外に発信する英語力のある人
- AP4. 博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、診療放射線学分野の発展に貢献する強い意志のある人

**教育理念**

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材を育成していくことを目指している。

順天堂大学大学院保健医療学研究科では、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる高度な専門知識と専門技術を有する指導的・高度医療専門職者や、理学療法学、診療放射線学の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学、診療放射線学の基盤を創造する教育・研究者の養成を目的とする。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

### 診療放射線学専攻

#### 〈博士前期課程〉

標準修業年限（2年）以上4年以内在籍し、修了要件となる30単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格した者に対し、修士（診療放射線学）の学位を授与します。

- DP1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、診療放射線学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力
- DP2. 診療放射線学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割や診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力
- DP3. 科学的根拠に裏付けされた診療放射線学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力
- DP4. 診療放射線学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力

#### 〈博士後期課程〉

標準修業年限（3年）以上6年以内在籍し、修了要件となる10単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び試験に合格した者に対し、博士（診療放射線学）の学位を授与します。

- DP1. 高い専門性と発展的な診療放射線学分野の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力
- DP2. 専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力
- DP3. 研究成果を国内外に発信し、診療放射線学分野の研究の発展に貢献できる能力

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

## 診療放射線学専攻

## 〈博士前期課程〉

- CP1. 人体の機能・構造の専門的知識や高度の倫理観、保健医療分野の専門的な研究方法論を修得するために、共通科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP2. リーダーや管理者、または教育・研究者としての必要な知識や、診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する方法を修得するために、共通科目と専門基礎科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP3. 診療放射線学の基幹領域での科学的根拠に裏付けされた診療放射線学の専門的知識や技術の応用力を修得するために、専門科目に特論科目及び特論演習科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP4. 診療放射線学における課題を見極め、研究計画立案から研究実施、さらに結果を分析する能力を修得するために、演習・研究指導科目に特別研究を配置します。成果は修士論文審査により評価します。

## 〈博士後期課程〉

- CP1. 新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学び、質の高い診療放射線学・生体量子科学の基盤を創造する研究者としての能力を高めます。
- CP2. 専門領域の学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶことで、自立した研究者となるための能力を培います。
- CP3. 研究課題に係わる国内外での学会発表や論文公表等により専門分野の学識を深め、国内外の専門家と積極的に交流し、国際的水準での研究推進に努めます。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### 診療放射線学専攻

#### 〈博士前期課程〉

診療放射線学専攻（修士課程）は、診療放射線学の教育を受けた学生や社会人などに対して、高い専門性と発展的な診療放射線学の知識を教授し、国際的・社会的に貢献できる人材を育成することを目的としています。生涯にわたって診療放射線学と向き合う姿勢を持ち続、「仁」の心を兼ね備えた研究者・高度専門職業人を育成するため、次のような志のある人物を求めます。

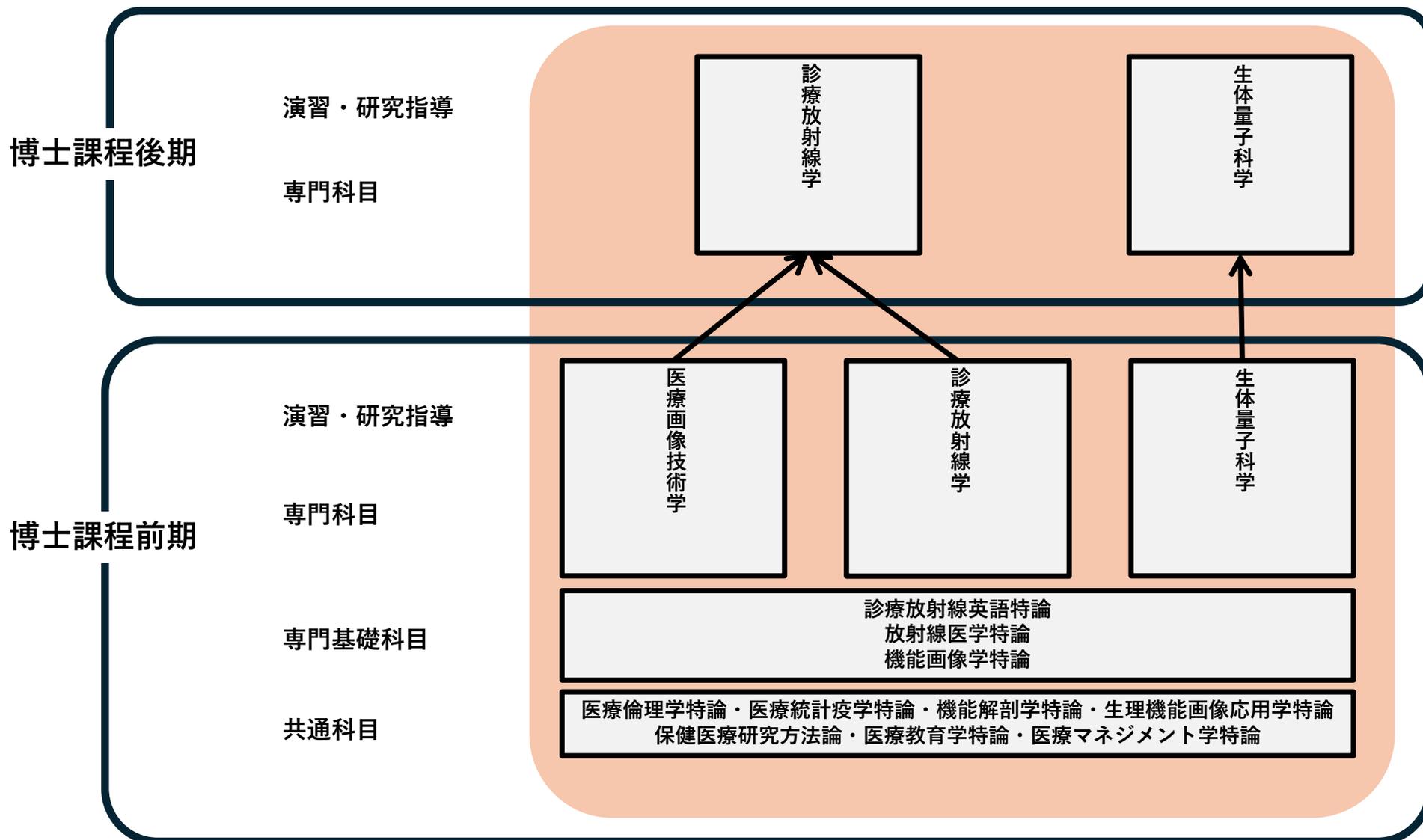
- AP1. 豊かな人間性をもち、診療放射線学分野の発展のため、大学院で学修・研究する明確な意思と、そのために必要な学力を持つ人
- AP2. 保健・医療・福祉の臨床・教育現場で活動しており、診療放射線技師の資格を持つ者として向上心のある人
- AP3. 診療放射線学に高い関心を持ち、入学後の学修・研究活動に積極的に取り組む意欲のある人
- AP4. 診療放射線学における研究・教育活動を通じて社会に貢献する強い意志のある人

#### 〈博士後期課程〉

診療放射線学専攻（博士後期課程）は、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる高度な専門知識と専門技術を有する指導的・高度医療専門職者や、診療放射線学分野の研究を積極的に推進し、質の高い診療放射線学・生体量子科学の基盤を創造する教育者・研究者を養成することを目的としています。そのため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力を兼ね備えている人
- AP2. 豊かな人間性と強い探求心をもち、診療放射線学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人
- AP3. 診療放射線学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げる意欲のある人
- AP4. 博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、教育者、研究者、指導者として、診療放射線学分野の発展に貢献する強い意志のある人

# 保健医療学研究科診療放射線学専攻



# 保健医療学研究科

